

組織人として、人として

「この前の話はよかったよ」何人からもいわれ、反響に驚きました。

F Mゆきぐにで毎週金・土曜日の朝にラジオ放送される番組『こんにちは林茂男です』は、ざっくりばらんな話ができるので、ひそかに収録を楽しみにしています。4月最初の放送で山本安幸放送局長から「令和元年度となる特別な年度の始まり。職員への市長の訓示で何を話しましたか？」の問いかけ。今春迎えた38人の新採用職員の前で話したのが「後藤田五訓」。さまざまな訓示や朝礼

でよく話をしています。歴代内閣に任せ、あの田中角栄さんが惚れ込み、与野党を問わず畏敬された不世出といわれる官房長官。カミソリの異名を持つ後藤田正晴さんが、部下である官僚に対して行った訓示です。これがとてもすばらしい。

- 一、省益を忘れ、国益を想え
- 二、悪い、本当の事実を報告せよ
- 三、勇気をもって意見具申せよ
- 四、自分の仕事でないと言うなかれ
- 五、決定が下ったら従い、命令は実行せよ

無聖礙は、般若心経に出てくる一節で「こだわりのない心」と私は解しています。そのような気持ちを持って市政にあたりたいと思います。

いわゆる官僚主義、お役所主義にならないための言葉。公も民間もない、組織とは何か？組織人としてあるべき何たるかが、この五訓の中にあると思います。

もう一つ。卒業式などで時折、巣立ちゆく若者を前に、つい原稿を脇に置いて話し出してしまう私の父の教えがあります。父は寡黙な人で、生き方には実直さや厳しさがありません。叱られた記憶は少ないものがあることをすると叱責されたことを思い出します。それは、不機嫌にしているとき。「その、仏頂面はなんだ！」と。「不機嫌は、幼稚にほかならない」と言われました。自己愛の表れ、主張のカタチである不機嫌な顔を恥とする。ゲラゲラと明るくしなくてもよい、心の上機嫌に努める。少しの自戒が生きやすさになる。

令和をことうほぎたい。しかし、いかに時代が変わろうと普通なことがあることも忘れずに。

国際大学留学生 お国自慢コーナー ~boast of my country~

シリーズ 第73回

ツバル ルアマノ パアシサマタルサマさん



私の国はこんなところ

ツバルは南大太平洋に位置する島国で、人口は11,000人ほどです。世界で4番目に小さな国で、世界で一番平和な国といえるでしょう。国民はとても友好的で、いつでも安全だと感じると思います。

有名な料理は「オタ」と呼ばれる、ココナツミルクと生魚のマリネです。私も大好きな料理です。

ツバルは現在、国と暮らしに影響を及ぼす地球温暖化と闘っています。でも、私たちは、国のモットーである「全能の神のためのツバル」であることを信じ、神がツバルを守ってくれると信じています。

南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼での一番の思い出は、小学校訪問や浦佐毘沙門堂裸押合大祭です。南魚沼の人々はとても親切で友好的です。特に、小学校訪問で出会った子どもたちは、私たちに対する言葉の壁など気にせず、友好的で元気いっぱいのおもてなしをしてくれました。浦佐裸押合大祭での叫び声やろうそくの火はすばらしい光景です。いまだに「サンヨ、サンヨ」の掛け声が脳裏に残っています。また、牛串やから揚げなど屋台のおいしい食べ物も楽しみました。



ツバル

公用語	ツバル語、英語
首都	フナフティ
面積	26km ² (192位)
人口	約11,000人
GDP (PPP)	1,220万ドル (194位)
通貨	オーストラリア・ドル(A\$) (AUD)

※ GDPは国内総生産のことで、購買力平価説 (PPP) により算出した数値です